

第1回教育委員会定例会議事要録

詳細—教育部庶務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称		教育委員会第1回定例会
事務局（担当課）		教育部庶務課
開催日時		令和3年1月12日 午前9時30分
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	金子 智雄（教育長）、樋口 郁代（教育長職務代理者）、白倉 章、 酒井 朗、村瀬 愛
	その他	教育部長、庶務課長、教育施策推進担当課長、学務課長、放課後対策課 長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長、図書館課長
	事務局	庶務課庶務グループ
公開の可否		一部公開 傍聴人 0人
非公開・一部公開 の場合は、その理 由		報告事項第4号～第7号は人事案件のため非公開とする。
会議次第		<p>協議事項第1号 学校教育の情報化推進に関する計画の策定について（庶務課）</p> <p>協議事項第2号 緊急事態宣言時における区立小・中学校等の対応につ いて（庶務課、図書館課）</p> <p>協議事項第3号 令和2年度卒業（園）式 教育委員会挨拶文（指導課）</p> <p>報告事項第1号 学校ICT環境の活用推進支援に関する協定の締結につい て（庶務課）</p> <p>報告事項第2号 保健関係表彰の受賞について（学務課）</p> <p>報告事項第3号 令和2年度愛媛県内子町「伝統工芸制作体験教室」の 実施について（指導課）</p> <p>報告事項第4号 会計年度任用職員（長期休業中預かり保育補助）の配 置について（学務課）</p> <p>報告事項第5号 会計年度任用職員（スクール・スキップサポーター、 学童指導員）の配置について（放課後対策課）</p> <p>報告事項第6号 会計年度任用職員（幼稚園道徳性育成指導員）の配置 について（指導課）</p> <p>報告事項第7号 豊島区立幼稚園教職員の分限処分について（指導課）</p>

事務局)

皆様おそろいです。今日、本日、傍聴者はいらっしゃいません。宜しくお願いいたします。

金子教育長)

今年入りまして、第1回目の教育委員会定例会始めさせていただきます。宜しくお願いいたします。

署名委員申し上げます。樋口委員、白倉委員、宜しくお願いいたします。

本日は傍聴人なしということでございますので、早速議案に入ってまいりたいと思います。

(1) 協議事項第2号 緊急事態宣言時における区立小・中学校の対応について

金子教育長)

まず、協議事項第2号の方から先に進行させていただきます。協議事項第2号 緊急事態宣言時における区立小・中学校等の対応につきまして、ご説明をお願いします。

はい、庶務課長。

<庶務課長、図書館課長 資料説明>

金子教育長)

資料のご説明が終わりました。緊急事態宣言に伴う学校及び図書館の対応に関しまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

図書館の部分について、中央図書館短めにするのは、本日からということですか。その他のサービスの変更や閲覧の場所について、2時間までというのは、既に4日からやっているということですね。

図書館課長)

はい。

金子教育長)

事後報告となりますが、中央図書館の時間帯変更については、このようになるということをお願いいたします。

時間変更など、新たに変わることがある場合は、教育委員会にかけるということでお話しはいただいておりますので、宜しくお願いします。

どうぞ、白倉委員。

白倉委員)

白倉委員)

夜10時であるものを8時にしますということは、広報しているのですか。

金子教育長)

時間の変更について、どういうふうに周知しているかですね。

はい、図書館課長。

図書館課長)

周知につきましては、7日に緊急事態宣言が出まして、その後決定となりましたので、8日から行っております。

12日から8時まで変更する予定ですということで、ホームページ等にはお知らせを載せております。

白倉委員)

館内にも載せていますか。

図書館課長)

館内の掲示等はやっております。

金子教育長)

はい、ありがとうございました。

学校に関して、一番の変更点は、一旦部活をやめてくれという指示を出したということです。都の方でも飛沫のおそれがあるものと限定されていますので、この際一度すべて中止して、構築し直すことを考えております。

給食等については変わりません。その他、園外関係の日程で2月7日までの期間に引かかるものについて、検討をしております。

それ以外は、今まで通り、しっかりやるということが主だと思っております。

いかがですか。はい、酒井委員。

酒井委員)

資料で出席停止のことが書かれていますが、今の時点ではなくて結構ですので、どのぐらい出席停止と言っているのかを教えてくださいませんか。

また、それに対する対応についても、後程、ご報告いただければと思います。

金子教育長)

はい、庶務課長。

庶務課長)

承知いたしました。

金子教育長)

登校の数などは、指導課で情報を掴んでいますので、また改めまして報告したいと思います。

他にございますか。

1点、追加です。団体貸出しについて、部活の一旦中止に伴って、子供が我慢しますから、大人も我慢してくださいということで、1月中は中止とさせていただきます。ただ、区内のスポーツ文化関係の施設については、時間の制限はあるにせよ、閉鎖せず運営しておける状況です。この部分については、均衡もありますので、今後状況を見て、解除していこうと考えております。

状況がどちらに転ぶかというのもありますので、いろいろ見ながら、柔軟に対応していきたいと思っております。その際には、定例的な教育委員会開けない場合でも、必ずご連絡をし

て、了解を得てからやっていきたいと考えていますので、宜しく願いいたします。

それでは、協議事項第2号については、了解ということにさせていただきます。

(委員全員異議なし 協議事項第2号了承)

(2) 協議事項第1号 学校教育の情報化推進に関する計画の策定について

金子教育長)

続きまして、協議事項の第1号に戻ります。

協議事項第1号 学校教育の情報化推進に関する計画の策定につきまして、説明をお願いいたします。

はい、庶務課長。

<庶務課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

次期計画策定の仕方について、協議をお願いします。中身については、別途検討をいただく予定です。

こちら、努力義務ではあるけれども、任意計画となっています。最短で、現状を追認するような計画作るのであれば、今の説明にあったようなスケジュールとなりますが、いかがでしょうか。

酒井委員、お願いします。

酒井委員)

一人1台タブレットという形の中で、計画を策定し直すというのは、非常に大切なことだと思っております。タブレットをどう使うのかということが一番大事な計画になります。計画策定の目的に、一人1台タブレットが配布されたことを書き込んでおいた方が、委員会としても検討しやすいのではないかと思います。

2021年度の計画ビジョンの中でお話ししますと、特に教員のICT活用の指導力育成ですとか、ICTを使った情報教育ですとか、そうしたことについてどのぐらい出来るのかということに光が当たるだろうと思います。

また、この間の変化として、ワークライフバランスの問題があると思います。校務の情報化というのは、働き方改革と連動させて考えなければいけないところであり、それについても計画の目的の中で、そうした10年間の変化を踏まえた書きぶりになった方がいいのかなと思います。

金子教育長)

今のご意見については、私も気になっていたところですが。前の計画を見ると、システムが全然なかった時代だったので、校務システム導入が非常に強調されているのですが、今では当たり前になっていますよね。

校務用システム改善によって、今以上に、働き方改革に資するようなものはないのか、あるのか、そこがわからないところでもあります。

はい、庶務課長。

庶務課長)

委員のご発言とおり、この10年間で、校務支援のパソコンが入ったり、電子黒板についてもほぼ1クラスに1台あるのですがそれが壊れてきて修理の部品がないという状況になっているところですよ。

働き方改革の視点では書かれていないので、校務支援システム入れたことによる働き方改革として、どうやって使って効率よくやっているのかということも含めて、盛り込んでいきたいと考えています。

また、一人1台タブレットというところは、重点的に書かなければならないと思います。しっかりと書き込んで、今後の方向性などを出していければと考えております。

金子教育長)

他にございますか。宜しいですか。

樋口委員、お願いします。

樋口委員)

この前のビジョンを拝見いたしますと、かなり細かいレベルで書かれておられますね。

情報化が進み、状況は時々刻々と変化をし、1年前でも古いと言われてしまうような世の中に変わってきているなというのを頓に感じるのところですよ。

私は、計画は、あまり細か過ぎない方がいいのではないかと思います。ビジョンという名の下に、丁寧に一つ一つをここまでしようという意図が、当時は必要だったということはお分かりです。ですが、今後10年間ぐらいを見通したものをお作りになるのであれば、このご時世の中においては、細かいレベルであるよりも、今後こうしていくという検討も含めた視点も必要なのではと思った次第です。

それから、細かいことなのですが、レジュメ1番の上から3行目「子供たち一人ひとりに公正に個別最適化され」の「個別最適化」というところの意味が分からないので、検討していただけるとありがたいです。

金子教育長)

ありがとうございます。

はい、庶務課長。

庶務課長)

まず、ビジョンというのは、大きく目標だとか、こういったところにしたいというものでございます。「豊島区教育ビジョン」もそうですが、ビジョンという名前を掲げている割には細かいためどうなのかなというところは、現場の方で話をしているところですよ。

ビジョンという名前をどうするかということについても、検討しております。もし、この内容であるならば、具体的な計画でありますので、計画期間を5年にするのかということも含めて、検討しなければいけない部分だとは思っています。検討している中で、

10年間というのは持たないだろうというのもありまして、こういう細かいものを書くのであれば、計画や要綱といったところになってくると思います。今後、委員の皆さんのご意見も踏まえて、変えさえていただきたいと思います。

また、文言について、個別最適化というところも含めて、検討させていただきたいと思

います。
金子教育長)

2ページ目に、参考で、法律はどこまで求めているのかというのを書いてあります。まず、学校教育どうするかといったことがあって、区として基本理念を定めること、情報化推進に関する計画の作成、その他に必要な事項を定めることにより云々というふうになっています。ここでの、基本理念というのは、頻繁に変わらないもの、つまり情報化というのは何のためにやるのか、というようなことでしょうか。

何年計画にしたらいいのかという点は、悩みどころであります。実は、豊島区の区長部局の方の基本計画の策定も、同じ悩みを持っていて、10年計画で5年目の見直しのものですが、前の5年間と世界が違っているくらい差があるので、もう新しい計画を立てているようになってしまっているのが現状です。

ですから、計画の位置づけ方、作り方、作り込み方について、相当気をつけてやらないと、すぐ陳腐になってしまうというのは、ご指摘の通りです。その辺も練って検討する必要がありますかなと思います。

まずは、学校も入っている庁内の検討委員会において、今のご意見を踏まえて、どう作っていくかということについて、一度、案を1回出してもらった方がいいと思います。例えば、抽象的に作るだけだったら、区の基本計画の中に入れてもらうだけでもいいですし、先生方や学校現場を考えたときに、明日どうしていくのかというのが大事だと思うので、これはこういうふうに使いましょうということを書いた方がいいかもしれないと思いました。

ご意見ありがとうございます。宜しいでしょうか。

今回のものを案として進めます。また、検討委員会の方で、いただいたご意見を踏まえての改善が出来ましたら、ご報告するという取り扱いさせていただきたいと思

います。
ありがとうございました。

(委員全員異議なし 協議事項第1号了承)

(3) 協議事項第3号 令和2年度卒業(園)式教育委員会挨拶文

金子教育長)

協議事項第3号、令和2年度卒業、卒園式教育委員会の挨拶文につきまして、ご説明をお願いいたします。

指導課長、お願いします。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

最終的な字句の決定について、もう一回機会があるということです。細かい点でも結構ですけども、大きくどういう方向で行く、こういう内容を書いた方がいいのではないかなどのご意見いただければと思います。

はい、樋口委員、お願いします。

樋口委員)

これは会場の外に掲示されるというものです。それとも一人ひとりに渡るのでしょうか。

金子教育長)

はい、指導課長。

指導課長)

昨年度のものについては、全部一人一枚ずつ配付しています。学校によっては、これを拡大して、貼り付けるという工夫もされているところもあったと聞いてはおります。

また、昨年度は、少しでも子供が集合しないようにということで、配布した資料は全部一つの袋に入れて、子供たちが持って帰るようにセットしてくださいという指示を出しております。

樋口委員)

つまり、文言が残ってしまうということですね。今までは耳で聞いて、その場で終わりだったのが、文字として残るということを考えたときに、私は、保護者の皆様に「お子様のご卒業おめでとうございます」というものはあってもいいのではないかと感じました。

もちろん、子供向けなので、子供が読むのだと思いますが、保護者の方もお読みになると思うので、例えば小学校でも、中学校でも2行目は、「卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます」という一行があったらいいのかなと思ったことが一点です。

幼稚園についてです。幼稚園は逆に先に子供向けの話をして、「保護者の皆様、〇〇幼稚園の修了を心よりお祝い申し上げます。お子様の健やかな成長を今後も支援してまいります」というようなメッセージがあっても宜しいのかと思いました。

また、私は特別な年だったと思うので、制約された中でもよく頑張ったねというのは、一番言いたいと思います。特に中3などというのは、進路選択もあったわけだから、そこに対するねぎらいは一番伝えたいですね。

メッセージについて、少し直してみました。

まず、小学校から。冒頭の「皆さんの門出を祝い、メッセージを送ります」というのは、例年は文章が長かったからこういうふうにこの話をするよと先に持ってきたところであるので、なくてもいいのかもしれませんが。

次の段落、「皆さんが5年生の冬から、新型コロナウイルスの感染が拡大し、最高学年としての1年間は、「学校の新しい生活のルール」に従って、学校行事や授業に工夫して取り組んできました。このような大変な状況の中で先生や友達と協力し、工夫して乗り越

えてきたことは大変立派です。将来、予測出来ないことや困難なことがあっても、夢や目標を持ち」のような感じで、ねぎらいの言葉を述べた上で、「豊島区は」と来てもいいのかなと思っています。

最後の段落、「皆さんの周りには、いつも励まし、応援してくれる家族、友達、先生方、そして見守ってくださる地域の方々があります。〇〇小学校で学んだことを生かし、中学校でさらにみずからを伸ばしていくことを期待しています」。つまり、小学生は中学生になるのは義務なので、あまり未来の遠い話ではなくて、中学校への励ましとして結んでいくようなのはどうかと思って、考えてみました。以上が小学校です。

続いて、中学校です。これはこれでストーリー性はあるのですが、小学校にならうとするならば、まずはねぎらいの言葉を入れてあげたいなと思っています。単なる例ですから、参考までにお聞きください。

「中学校最高学年の皆さんは、世界中を揺るがすコロナウイルス感染拡大が1年以上続く中、新たな視点を持って、精一杯の努力をしてきたことと思います。学習や進路選択の不安もあったことでしょう。その中で、友達や先生方と協力し、様々な工夫を重ね、中学校生活の集大成や進路選択に努めたと思います。その姿は、皆さんは下級生の模範となる立派な姿でした」みたいにして、ねぎらってから「豊島区は」に移る。

そうすると、医療従事者のところの話は、筋が通っていて良いのですが、2回目になるので、逆に、下から2段落目の「より良い解決に導いていくことであると考えます。皆さんを」というふうに、最後の段落の後半に続いていくのはいかがでしょうか。また、考えただけに終わらず、考えて、更に行動してほしい。なので、問い続け、行動していただくというように「〇〇中学校で培った力を礎に」とやったらどうなのかなと考えました。

金子教育長)

ありがとうございます。

こういう挨拶も、紙で残るとのことなので、あのときこうだったということを残しているものがあれば、後程、振り替えることになったときに、励ましになるような言葉もあった方がいいかなと思います。

何より、私もいろいろな挨拶文で感じるのですが、子供たちが、一番我慢して、一番偉かったということは是非言ってあげたい、ほめてあげたいなというふうに思います。

文例もありがとうございます。それを踏まえた修正にしたいと思っています。また事前にお送りして、了解を得ることにしたいと思っています。

はい、指導課長。

指導課長)

卒業式の例文を基に、入学式もありますので、また引き続きご指導いただければと思っています。

金子教育長)

宜しいでしょうか。

それでは、協議事項3号につきましては、今日はこのようにご意見をいただいて、継続していくことで、次回に決定したいと思います。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 協議事項第3号了承)

(4) 報告事項第1号 学校ICT環境の活用推進支援に関する協定の締結について
金子教育長)

続きまして、報告事項第1号、学校ICT環境の活用推進支援に関する協定の締結につきまして、ご報告をお願いします。

はい、庶務課長。

<庶務課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございますか。寄附の金額を教えてください。

庶務課長)

会社から100万円と、社長さんご本人から50万円です。

金子教育長)

ありがとうございます。

150万円頂いて、子供たちのために使わせていただいております。

ICTの会社はいろいろあるのですが、教育内容のことで本当に分かっている会社という、なかなかいない状況です。

学校ICTについては、教員の方がみずから使っていただく、教育委員会はそれ支援するとかたちで考えています。支援の中身として、ライブラリーを作って、効率よく取り出しやすいようなものが出来れば、お互いにウィン・ウィンになるのではと話をしているところです。

まだ成果が出ているわけではなく、まずは実験的やってみようというところです。ありがたいことに、社長さんは、お金のためより子供のためという非常に熱心に考えていただいたところが大きいのかなと思っております。

樋口委員、どうぞ。

樋口委員)

1点目は、この会社は、今までに教育に関わる実績はあまりないということでしょうか。

2点目は、1年間の予定や年間の予算はどのくらいを考えていらっしゃるのか。

3点目は、学校ICTについては、ホームページを作ってください方や、支援員など、いままで支援して下さった方がいらっしゃると思います。そういう方との関わりはどんな感じになっていくのか。教えていただけるとありがたいです。

金子教育長)

はい、庶務課長。

庶務課長)

この会社はICTの会社でございますので、教育に関しての実績についてはございません。ここについては、指導課も含めて、私たち教育委員会で、学校と三者で協議していかなければ、教育の考え方や、内容が分からないのかなというところではございます。

予定については、保管と活用というところで有名な会社でございますので、そこを活用しながら、どれだけ運用出来るかを実証していくといくことが、第一回目でございます。

予算については、現在のところ立てておりません。本当に、ボランティアでやっていただけるということで話を聞いていますので、お金は向こうからも出ていませんし、私たちからも予算はありませんと言っております。

これまで関係してくださった方たちについては、委託しているICT支援員さんとの関係は、今のところ想定しておりません。今回は、学校の先生方が作ったクラウドを活用した授業で使う教材、それからそういったものを保管して、共用出来るような形にしていくということにしていくことを考えています。委員がおっしゃるように、ICT支援員さんなどとの関わり合いが発生した際には、委託事業者の責任者と話し合いをしながら検証していきたいと思っております。

金子教育長)

宜しいでしょうか。

はい、樋口委員。

樋口委員)

学校間における教材の蓄積、いわゆるパソコン上に図書館を作るということですね。

今まで、学校で作ったものは共有するのが難しい雰囲気があったところですが、そこに工夫されたものを導入して、もっとオープンにしてお互いに活用していくというふうになっていく。

今後は、これを推進していくのでしょうか。その辺の見通しを教えてください。

金子教育長)

はい、庶務課長。

庶務課長)

先日、先生方にヒアリングをしたときに、確かにそういったご意見を聞きました。

ただ、ICTが導入されてクラウドとなって、環境が全く変わります。これまでは学校単位でしか、共有出来なかったものが、豊島区の学校であれば全校で使えるということになりますので、先生方のこれまでの自分の積み上げてきた教材など、共有出来るものはしていただくということはやっていきたいと考えております。また、それを使うからこそ生きた教材もあると思います。

また、指導課で、先週作成いただいたものですが、活用事業例の指導略案集を作っております。まずは、そういった皆さんに公表出来るものについて、共有していく。

更に、GIGAスクール構想推進PTの下部組織であるチームで、小学校、中学校の先生方が集まって話をしている中でも、意見を聞いた中では、その共有の場に教材をあげて、

自分の実績を積んでいきたいという方もいらっしゃいました。そういった方をどう上手くライブラリーに連れていけるのか、また、ライブラリーを活用出来るのか、これからのチャレンジだと思っています。なかなか進まない部分もあるかもしれませんが、一步一步やっていきたいと思っています。

金子教育長)

宜しいでしょうか。

はい、指導課長。

指導課長)

この1年間、区の小学校の教育研究会と中学校の教育研究会と、いろいろ整理をしてまいりました。これまで、配っていた冊子は思い切って、廃止にしています。

いろいろ評価部会等を開きながら研究を進めてきているのですが、そういうものを、自分たちだけの財産にしないで、区の財産にしようという方向で、データ上にライブラリーを作ることがゴールじゃなくて、そこから活用することがスタートなのだとということで、1年間少しずつ進めてきました

また、学校がやっているものだけではなく、先生方の教育研究研修の基盤のある区の小学校研究会とか、中学校の教育研究会など、多くの学校の先生方が集まってやることについても、出来上がったものも共有していくように考えております。

金子教育長)

はい、樋口委員。

樋口委員)

ありがとうございます。そういうふうに意識が変わってくださると、学びが深まるのではないかと期待します。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。

はい、教育部長。

教育部長)

補足させていただきます。

当初、スパイダープラスとの話では、社員のなかに、ついこの間まで小学校の教壇に立っていた社員がいて、その方が、アプリを使い模範授業を作るので、それを各学校に広めたいということでした。しかし、目白小学校に視察を行って、実際の授業を見ているうちに、やはり模範となるような授業を作るのは難しいということになりまして、しばらく時間が空きました。そこから、自分たちの強みは、ハード面で、例えばS k y p eとか、M e e tとかの使い方ですとか、データの蓄積ですとか、そういったものを効率よく使う方法についてであれば、お役に立てるということで、こういう締結に至りました。

ボランティアでやっていただくということですので、我々としては、学校に入っていた

だいて、出来ることからやってもらえればという状況です。スモールスタートで進めたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

金子教育長)

私からも補足をさせていただきます。

タイトルは協定の締結になっているのですが、いわゆる委託関係といえますか、お金を伴うようなものでは全くありません。説明にあったとおり、以前にスキップのお弁当の話ありましたが、あれに続く公民連携第2弾というところでもあります。

ICTは専門領域であり、区長からも、もっとお金をだして民間の力を借りてもいいのではないかとされている部分です。もちろん、有償で仕事をお願いするのも必要だと思いますし、熊本で大学と連携したりしている例もあるということで、そういうことまで含めて、視野を広くもって、今後も良いお話しがあれば受けたいと思っております。

日本の場合、教育ICTは未開発の部分もございますので、企業の方も悩んだりするところがあるかもしれませんが、請け負って終わりということではなく、今後も幅広く研究等を行っていきたくと考えています。

ICTの支援員はお金を払ってやっていますので、区側が委託者ですから、これはこれでしっかりとやっていただく。そういう方々とのスパイダーさんとの間で、良い関係が出来るというのは、非常に期待をしております。

宜しいでしょうか。

どうぞ、白倉委員。

白倉委員)

非常に良いお話であり、協力してやれば、素晴らしいものが出れると思います。業界では有名な会社なので、是非、一歩踏み出して始めてみることで、良い関係になって、上手くやっていけたらいいなと思います。

金子教育長)

ありがとうございます。

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

150万円もご寄付くださり大変ありがたいことです。本当に学校を良くしたいという気持ちがあるのだと思っております。

ICTについては、今、飛躍的に伸ばさなくてはいけないところなので、いつでもすぐに聞けるという環境が必要だと感じています。

まずは、こちらの方に、ライブラリーとか、いろんな教材のこととか、アイデアいただく。

また、先日、高南小学校の放課後子ども教室でプログラミング教室をしてくださった会社で、世界で一番働き方が良いといってナンバーワンになったぐらいの会社なのですが、そこの社員さんが、先生にプログラミングを教えてくださいましたという例があります。会社

では、ボランティア時間というのが定められていて、それを使って、会社の人が進んでボランティアに来るというシステムらしいです。

生徒2人に社員さん1人の割合についてくださって、更に、タブレットも会社から送ってくださって、そして、送料も全部会社がもってくださったとのこと。これからもそういうのがあれば、やりますよと教えてください。きっと、ご存じのPTA会長に聞いてみたらすぐに話が進むと思います。委託業者さんにお問い合わせ出来ないところには、このように多方面からの知恵を取り入れると深まるのかなと思います。

金子教育長)

ありがとうございます。是非検討してください。

はい、庶務課長。

庶務課長)

そのようなありがたい情報がありましたら、私どもの方へ情報いただければ、是非ご挨拶に伺いたいと思います。

学校ごとにそういった団体さんがいてくださると、本当に助かります。小さい話でも宜しいので、もしありましたら教えていただければ、そういった関係も連携を出来ればと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

金子教育長)

ありがとうございます。ICTの支援員の常駐は、一つの目標ですが、まだ達成出来ていません。これは課題だと思っております。

他にございますか。

宜しいですか。では、これについては、このように協定を締結させていただきましたという報告を了解したということにいたします。

(委員全員異議なし 報告事項第1号了承)

(5) 報告事項第2号 保健関係表彰の受賞について

金子教育長)

続きまして、報告事項第2号、保健関係表彰の受賞につきまして、ご報告お願いします。

はい、学務課長。

<学務課長 資料説明>

金子教育長)

ご報告終わりました。ご説明終わりました。何かご質問、ご意見ございますか。

はい、白倉委員。

白倉委員)

豊島区の学校保健委員会の上に東京都の学校保健委員会があるのですが、そこの表彰ですね。統計を出して、推薦して、授賞となるわけなので、当然、優秀じゃないと受けられないというものです。非常に名誉でもあります。

金子教育長)

今ご説明あったように、まず区の保健委員会での表彰があって、その上に都があって、国があるという理解しました。

今後もまた表彰がありましたらご報告をさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 報告事項第2号了承)

(6) 報告事項第3号 令和2年度愛媛県内子町「伝統工芸制作体験教室」の実施について

金子教育長)

続きまして、報告3号 令和2年度愛媛県内子町の実施について、お願いいたします。はい、指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

形を変えたけども、続けて頑張っていますということです。宜しいでしょうか。ありがとうございます。

(委員全員異議なし 報告事項第3号了承)

(7) 報告事項第4号 会計年度任用職員(長期休業中の預かり保育補助)の配置について

金子教育長)

それでは、報告事項第4号 会計年度任用職員の配置につきまして、ご報告をお願いします。

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第4号了承)

(8) 報告事項第6号 会計年度任用職員(幼稚園道徳性育成指導員)の配置について

(9) 報告事項第7号 豊島区立幼稚園教職員の分限処分について

金子教育長)

先に、報告事項第6、7号を先にやってもよろしいですか。

報告事項第6号 会計年度任用職員(幼稚園道徳性育成指導員)の配置について、報告事項第7号 豊島区立幼稚園教職員の分限処分について、一括審議です。

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第6号了承)

(委員全員異議なし 報告事項第7号了承)

(10) 報告事項第5号 会計年度任用職員（スクール・スキップサポーター、学童指導員）の配置について

金子教育長)

それでは、報告第5号、会計年度任用職員（スクール・スキップサポーター、学童指導員）の配置について、お願いします。

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第5号了承)

金子教育長)

では、只今をもちまして、第1回教育委員会定例会、閉じさせていただきます。ありがとうございました。

(午前11時20分 閉会)